



一乗小だより

深く考える子
進んで取り組む子
思いやりのある子

福井市一乗小学校 第61号
令和7年6月24日発行
TEL 43-2024 FAX 43-2025
E-mail : itijo-e@fukui-city.ed.jp

福井市教育委員会 学校訪問

6月18日、福井市教育委員会、指導主事の学校訪問がありました。福井市内全ての小中学校に対して学校訪問を行い、授業参観や教職員との懇談等を通して学校の取組について確認しています。その中で指導主事からの指導・助言を受け、今後の教育活動の向上に繋げることとしています。この日は6年生算数の授業を中心に、3・4年生国語と理科、1年生国語の授業公開を行いました。校内の教職員だけでなく、他校の教職員の参観もあったため、多くの人に見られている中での授業となりました。いつもとは異なる雰囲気だったので緊張もあったと思いますが、子どもたちはいつも通りの反応をしながら一生懸命に課題に取り組んでいました。課題を理解したり、思いや考えを相手と伝え合ったり、実験を通して予想した結果を調べたりしながら、学習の楽しさを味わって自分からいろんなことを学んでいってほしいと思います。



放課後、子どもたちの下校後、指導主事の先生も交えて、授業の取組について研究協議を行いました。6年生算数の授業を中心に意見を出しましたが、数直線図、関係図、面積図についての話題が出て、この3つの扱いについて様々な考えが聞かれました。また、子どもたちが使っている教科書の内容にも触れながら、式を立てる上で関係図や数直線図は重要であり、その考えの中で面積図を活用することは効果的であることを学びました。また、話の後半にはノートを取り方や学習後の振り返りとしても使える「第2のノート」についても意見を出しました。子どもたちの学びを支え、伸ばしていけるように、教師集団も学び続けることが大切です。共にがんばっていききたいと思います。

家庭・地域・学校協議会

文部科学省では、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりを進め、未来を担う子供たちの成長を地域全体で支える社会を実現するため、コミュニティ・スクールの設置を進めています。福井県では福井型コミュニティ・スクールという形でその設置を進めてきて、現在は100%近くの学校で設置されています。

す。目的は「家庭、地域、学校が連携し、地域の特性や実情を活かしながら、地域に根ざした開かれた学校づくりを目指す」としており、活動内容は『地域全体の教育の在り方や子育ての方針等について、家庭、地域、学校の代表者が話し合い、それぞれが責任をもって活動する。』としています。

今年、第1回の家庭・地域・学校協議会が行われ、令和7年度の一乗小学校の教育計画や現在の学校の様子等について意見を交わしました。いただいたご意見については今後の教育活動に活かしていきたいと思います。また、引き続き、地域の皆様の力により子どもたちの学びを支えていただきたいと思います。



一乗地区 自主防災訓練が行われました

先日配付した学校だよりでお知らせしたように、6月22日早朝より一乗地区 自主防災訓練が行われました。福井市全体で行われており、各地区で同様に行われていたようです。今回は、要介護支援者の避難誘導と避難所開設体験をいつもの訓練に加えて行い、防災教室では参加した子どもたちは水消火器や仮設トイレ組立を体験しました。



実際に災害が発生し避難指示が出るとかなりの混乱が予想されます。また、小学校体育館も第二避難所として開設されると、比較的近いところに2つの避難所があることから、避難する人で混乱がありそうです。地震や洪水に関しては公民館が第一避難所になりますが、土砂災害に関しては公民館、学校の両方が避難所となります。状況に応じた避難が必要だと感じました。

一乗小なんでも情報館



《なんでも情報①》

昨年はツバメが児童玄関の時計の巣によく来ていましたが、今年は校舎3階の上にある巣によく行き来しています。それでも写真のように巣にいるときもあったり、毎朝学校にくると巣の下にフンが落ちていたり（毎朝の掃除がたいへん・・・特に月曜日の朝が）、今年はツバメの子どもたちの休憩所みたいな感じですかね。

《なんでも情報②》 家にいる蜘蛛は縁起がいいの？



家にいる蜘蛛は縁起もの？

～小さな訪問者が運んでくる幸運の話～

皆さんは、家の中でふと蜘蛛を見かけたことはありませんか？天井の隅や窓辺に、ひっそりと糸を張っている姿に驚くこともあるかもしれません。でも、実は昔から「家にいる蜘蛛は縁起がいい」と言われているんです。

特に朝に見かける蜘蛛は「朝蜘蛛」と呼ばれ、「福を運んでくる」「良い知らせの前触れ」として大切にされてきました。逆に夜に見かける「夜蜘蛛」はあまりよくないとも言われますが、これは夜に活動する泥棒や災いと結びつけられていたためとか。

蜘蛛は害虫を食べてくれる益虫でもあります。蚊やゴキブリなどを捕まえてくれる、いわば「小さな守り神」。そのため、無理に追い払わず、そっと見守るのが昔ながらの知恵です。

現代では、清潔を保つために蜘蛛を見つけるとすぐに掃除してしまうことも多いですが、たまには「この子が福を運んでくれたのかも」と思って、そっと見逃してあげるのもいいかもしれませんね。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 切 り 取 り ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

学校へのご意見やご感想をお知らせください。

こちらからも可 →→→

年 名前

(無記名でも構いません)

